



工藤千秋先生 による特別講座を開催致しました！

2013年7月14日に、脳神経外科 医学博士の工藤千秋先生による特別企画講座を開催致しました。
タイトル:「エビデンスに基づく認知症補完療法へのアプローチ」～アロマテラピーは確かに認知症の脳を呼び起こす～
アロマセラピスト達にはとても勉強になる内容で、多くの方々が受講されました。



大勢の方が参加されました。



パワーポイントで詳しく教えていただきました。



NAT 画像の解説中です。

アロマテラピーは最近、高齢者のケアいろいろなところで導入され始めました。今まで私たちも14年間老人病院でアロマトリートメントを実践し、いろいろなケースを見てきましたが、実際にリラックスされて認知障害の周辺症状が改善されているにもかかわらず、ちゃんとしたデータがとれないなど伝えられないもどかしさがありました。エビデンスをとることができないのです。実際今までのアロマテラピーの効果は80%が民間療法などのデータでエビデンスのないものです。

そこで脳神経外科の工藤千秋先生は認知症の高齢者、数名に対しアロマの香りを吸入し、新しい脳波解析法 (DIMENSION) と NAT 画像 (脳電位を測定コンピューターで解析とその時の脳の活動状態を調べ、NAT 画像とよびますが、) を使って脳の活動がどう現れるかについて検証されました。

今回その検証内容を特別講座として開いていただき、貴重なお話を沢山うかがうことができました。

受講された方からは、「医学的な話を分かりやすく説明していただき良かったです」「アロマが脳の働きに影響があることが理解出来ました。」など“受講して良かった”という多くの感想をいただきました。

工藤先生、貴重な講座をありがとうございました。

TEN 高齢者ケア研究会会長 西村真理子



工藤先生著作
「エビデンスに基づく 認知症 補完療法へのアプローチ」
こちらに沿った講座内容でした。
ご興味がおありの方は是非読まれてみて
はいかがでしょうか



TEN 高齢者ケア研究会では、様々な場面でご活躍の先生方に講座をお願いする予定です。
次回開催内容が決まり次第、ご案内させていただきます。どうぞお楽しみに！

ハンドトリートメントボランティアレポ！



TEN 高齡者ケア研究会では、ある高齡者施設に出向き、
高齡者の方へ月2回ハンドトリートメントボランティアを行っています。
今回は、そのハンドトリートメントボランティアの流れをご紹介します



レポ協力：福島京子 (AEAJ 認定アロマセラピスト)

開始 30 分前に施設入口でセラピスト達が待ち合わせをし、
全員揃って施設内へ移動。
受付へのご挨拶と、手の消毒をしっかりとします。

施設にお預けしている一式(カルテやトリートメントオイル)を受け取り、
その日の対象者に従ってボランティア担当者の割り振りとカルテ確認。
そしてハンドトリートメントを行う階へ移動し、ハンドトリートメントスタート！



予定者全員のハンドトリートメントが終了したら、カルテを書きます。
そして当研究会への報告を共有。(その後代表が報告)
オイルやカルテなどを片付け、施設の方へご挨拶をし終了です。
皆さまお疲れ様でした！お時間は3時間ほどです。

一緒に活動して下さる方を募集しています
ボランティアにご興味がおありの方は、
toranomon@tenaroma.com までご連絡下さい。

～ ボランティアをしてみてもうのこと A 様～

ボランティアということで、気軽な気持ちで参加しました。
15分ほどの短い時間のハンドトリートメントですが、終了後に「ありがとう」と言
ていただいたり、表情が穏やかになったりと嬉しく感じることもたくさんありました。
普段接することの少ない高齡者の方とコミュニケーションをとるといことも、
とても良い勉強になっています。

新潟で行われた日本認知症予防学会にて 検証発表 してまいりました！

前ページのハンドトリートメントボランティアのデータを山本君子先生(元了徳寺大学准教授)のご指導のもと総勢11名でまとめ、2013年9月に新潟で行われた日本認知症予防学会にて、会長西村とアロマセラピスト2名(牧野・柴田)が代表して発表してまいりました。

日本認知症予防学会とは、認知症予防に関する諸分野の科学的研究の進歩発展をはかり、その成果の社会還元を目的としている学会です。昨年に続き2回目の発表でした。

日本認知症予防学会: URL(<http://ninchishou.jp/>)



都内の特別養護老人ホームで認知症日常生活自立度1～Mの対象者25名を対象に、精油の香りと、タッチング、更に傾聴とを合わせた相乗効果を期待して、アロマトリートメントを行うことにより、認知症高齢者がどのような反応、また、気分変化をもたらすのかを、検証し発表してきました。 牧野桐子(AEJ認定アロマセラピスト)

本研究は、数多くのアロマセラピーの中からハンドトリートメントという方法を用い、トリートメント前後の観察を通したところ、施術回数が10～12回の中間点に気分変化が大きいのではないかとこの点に着目し、中間である5回と6回についての気分変化を検証しました。 柴田明子(AEJ認定アロマセラピスト)



発表に携わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

せっかくの貴重なデータです、当研究会内でも発表できる場を設けたいと思います。詳しくはまた後ほど！

今回のニュースレターメッセージは、中田麻紀氏（歯科医師）よりいただきました。

中田先生は歯科医師として活動を行うと共に、当研究会の副会長でもあります。

歯科医師ならではの目線で高齢者の方へアプローチしていく過程で感じたことを教えて下さいました。

「感覚刺激と身体、心の変化」

歯科医師の中田です。

私の仕事は高齢者の方、寝たきりの方のお口、食のサポートです。

通常の歯科とは違い、治療といっても虫歯を治すだけではなく、美味しくお食事を召し上がって頂き、心身供にお元気になって頂けるように、多職種が連携して治療、ケアを行っています。

皆さんはどうなったら、美味しくお食事が食べられなくなると思いますか？

歯がなくなったら食べられない、逆に歯が沢山あれば食べられると思っている方も多いのではないのでしょうか？

歯は食べ物を細かく砕いて飲み込みやすくするといった点ではとても大切です。

しかし歯があっても、咀嚼を促す筋肉や嚥下、認知機能が低下していると食べられません。

口の中、外の全体の調和が取れてこそ美味しく食べ物を食べられます。

食べるという行為の中で一番大事な事は感覚です。

美味しいと感じられるには、味覚だけではなく、嗅覚や視覚から入ってくる刺激がとても重要になります。

認知症には嗅覚がまず衰えるといえます。それは悪循環の始まりにもなります。

皆さんも鼻炎などで鼻がつまっている時の食事は、味が感じられなかった経験はございませんか？

そんな時、お食事は美味しく召し上がれないはずです。

アルツハイマー型認知症の方では、香りを感じられないと嗅覚からの脳の刺激は減り、

またそれに伴い味覚の低下で味を感じられなくなり、ADLの低下につながります。

私の患者さんのお話をさせていただきます。

Aさん 88歳 脳梗塞後遺症で寝たきり 嚥下機能には問題はなかったものの、

認知機能の低下により経口摂取できないとの診断で、数年前より食欲低下で胃瘻、

経管で栄養を摂っています。目は閉じている時間も長く、全身は硬直していて、発語もほとんどない状態でした。

甘い物が大好きだったというAさん。何とか少しでも食を楽しんで頂きたいと思い、

種々の刺激を開始いたしました。娘さんが協力的なものもあり、顔、肩、手、足をトリートしてくださいました。

そして嚥下訓練も兼ねて、香りの強い棒付の飴を少しずつ味わってもらう様にしました。

その時ただ飴を召し上げて頂くだけでなく、口腔内からマッサージするように、種々の動きを加えました。

1か月後....Aさんは目を見開き、娘さんや私たちに「ありがとう」と言ってくださり、笑顔も見られる様になりました。

言葉も増え、アイスクリームやゼリーも召し上がれるようになりました。

今回は香りの強い飴を使用しましたが、覚醒していない方には嗅覚刺激として、アロマを嗅いで頂く事もあります。

Aさんの例だけではなく種々の感覚刺激が、身体、心の変化を招くと日々の感じております。

高齢者に限らず、皆さんもトリートメント、嗅覚刺激でどんな変化があるのか、感じてみてください。

TEN 高齡者ケア研究会
副会長 中田 麻紀

近日開講講座のご案内

2013年 12月開催 第19回



アロマテラピースクール I.E.N.アロマアソシエーション・TEN高齡者ケア研究会

TEN高齡者ケア研究会では、現在医療従事者と連携し、「認知症とアロマテラピー」の関係を検証しております。

実際に活動を行っているアロマセラピストや臨床心理士の方を講師にお迎えし、様々な講座を年に3・4回開催しております。

お申込・お問合せは Mail: toranomom@tenaroma.com までお気軽にどうぞ

◆ **高齡者とアロマテラピー** ◆ 講師: 西村真理子 (TEN高齡者ケア研究会代表)

<入門編> 随時開催・お問合せ下さい。

入門編は、アロマテラピーの基礎を学んでご家族の方に安全に使っていただく事を目的にしています。

受講料: 6,300円(税込)

内容) アロマテラピーの基本/高齡者への精油の選択・利用法・安全性/他

実習) ルームスプレー作成

<中級編> 10:00 ~12:30 12月9日(月)

今まで14年間の病院・介護施設での実績を盛り込んだ講座内容になり、実際に使用している精油や認知症障害などの様々なケースについてもご紹介させていただきます。今後ボランティアや仕事として、アロマテラピーを高齡者のケアに導入する事をお考えの方はお勧めです。

受講料: 6,300円(税込)

<応用編>を受講する前に、<中級編>を受講して下さい。
<応用編>の次期日程は決まり次第告知致します。

◆ **高齡者のためのハンドトリートメント実習** ◆ 12月9日(月) 13:30~16:00

講師) 西村真理子
受講料) 6,300円(税込)

内容) 高齡者のためのハンドトリートメントの実習と安全に行うための留意点など

実習) 実際に相モデルでトリートメント実習

持ち物) フェイスタオル×2枚



~ ハンドトリートメント実習の様子 ~

◆ **高齡者のためのフットトリートメント実習** ◆ 12月2日(月) 10:30~16:30

講師) 桶川佐由美
受講料) 12,600円(税込)

内容) 実際に老人病院でトリートメントを行っているセラピストがお教えいたします。

実習) 実際に相モデルでトリートメント実習

持ち物) フェイスタオル×2枚、トリートメントしやすい服装

<お振込先> 三井住友銀行 経堂支店 普通 6952267 TEN高齡者ケア研究会
<お申込・お問合せ> Mail: inquiry@tenaroma.com Tel: 03-3433-1028 Fax: 03-3433-1027

<場所> TEN高齡者ケア研究会 東京都港区西新橋3-15-8-1303
※録音、録画、スクール内でのお食事はご遠慮下さい。
 ※参加人数により開催されない可能性もございます。ご了承下さい。

詳細は http://tenaroma.com/pdf/class_koureisha_201312.pdf をご覧下さい。(PDF形式)



~ 高齡者のための心理療法 ~ 次期開講日程決定致しました!

臨床心理士の石濱智美氏をお招きして「高齡者のための心理療法」を開催致します。

日程は、2014年3月1日(土)、10時~12時です。(受講料:6,300円税込)

高齡者の心や、認知症の方の心、「傾聴」についてお話をうかがいます。

「聞く」と「聴く」の違いや、回想法などについて学んでいただけます。

石濱先生の気さくな雰囲気にも包まれた本講座は、前回大変ご好評いただきました。

是非ご参加下さいませ

当研究会会員の皆様は、表示より10%引きの受講料になります。

各講座のお申込・お問合せは Mail: toranomom@tenaroma.com までお気軽にどうぞ

TEN高齡者ケア研究会 News Letter vo.2 を最後までお読みいただきありがとうございました!

次回もどうぞお楽しみに

